

第6回 世界子どもの日

中高生 映像スピーチ コンテスト

大学生も
19歳まで
応募OK!

応募期間
2020年 10/31 Sat 締切

わたしたちの声が、
勇気が、
世界を変えていく。

認定NPO法人・ヒューマンライツ・ナウは、「世界子どもの日」によせて、映像スピーチコンテストを開催します。

小学生から19歳以下のユースのみなさんに、「子どもの人権・権利」、「世界や日本の子どもたちの状況と人権の大切さ」、「身近なところで感じた人権の大切さ」「自分らしい生き方」「差別など差別をなくすために」などについて語った映像をヒューマンライツ・ナウに送っていただき、審査員により審査を行います。

ユースのみなさんが、自分がスピーチしているところを動画に撮影し、締切までに団体に送っていただくだけで、あなたも簡単にコンテストに参加することができます。ぜひ、積極的な応募をお待ちしています。



スピーチコンテスト
2020
特設ウェブサイトは
こちらから！

主催



Human Rights Now

<http://hrn.or.jp>



大学生も
19歳まで
応募OK!

第6回 世界子どもの日 中高生映像スピーチコンテスト

応募要項

応募期間 **10/31** 締切
2020年

[対象]

- 日本在住の小学生から19歳までの方
今年は大學生のスピークアップも応援したいので、19歳まで
応募資格を拡大しました
- 国籍不問
※海外にルーツを持つ方の積極的応募を期待しています。
- グループでの参加も可能です。

[スピーチのテーマ]

- ユースが変えるこれからの社会について、
人権との関わりを中心に置いてスピーチしてください。
(参考)・マララ・ユスフザイさんノーベル平和賞受賞スピーチ
・グレタさんの国連でのスピーチ
・人権で世界を変える30の方法(合同出版)

[実施プロセス]

- ①日本語で7分以内のスピーチ映像を撮影、
ご応募頂きます。
- ②委員により審査が行われ、入賞者の映像が
特設ウェブサイトに掲載されます。
- ③優勝者には、11月開催のイベントにて
スピーチを披露していただきます。

[応募方法]

- ウェブサイト上の「申し込みフォーム」に記入、
もしくは同様の内容をメールでご送付ください。
- ギガファイル(<http://gigafile.nu/>)に
動画をアップロードし、作成された動画の
ダウンロードキー、お名前を明記の上、
child.campaign@hrn.or.jp宛にお送りください。

世界では、今も絶え間ない戦争によって
子どもたちの命が奪われています。
そして日本でも、いじめにあったり、
大人から暴力を受けたり、
周りのことを気にして自分らしく行動できない、
言いたいこともいえない、なんてことはないでしょうか。
最年少でノーベル平和賞を受賞したマララさんは、
勇気を出して意見を言いました。
私たちも、声をあげることで、社会に気づきを与え、
何かを変えることが出来るはずです。
子どもたちの声が、勇気が、世界を変えていく。
今回のチャンスがその一歩になってくれればと、
切に願っています。

お問い合わせ

ヒューマンライツ・ナウ
東京事務所(本部)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町335
鈴木ビル4階

メール：child.campaign@hrn.or.jp

[審査員紹介]



濱田邦夫氏

弁護士/元最高裁判事/ヒューマンライツ・ナウ運営顧問



堀潤氏

ジャーナリスト・NPO法人「8bitNews」代表



三浦まり氏

上智大学法学部教授/ヒューマンライツ・ナウ理事



高遠菜穂子氏

イラク人道支援ワーカー



山本和奈氏

起業家/アクティビスト/一般社団法人Voice Up Japan代表理事